

令和2年度の研究(または活動)内容

今年度は2つの大きなシンポジウム(オンライン)を主催し、1つのシンポジウムに協力した。コロナ禍の状況を踏まえ、いずれもオンラインで実施した。

1. オンラインシンポ「社会のデザイン～北欧諸国における新型コロナウイルスとの向き合い方」 2020年8月29日開催(zoomミーティング)

COVID-19(新型コロナウイルス)の対策において異なる対応をみせた北欧のスウェーデンとフィンランド。両国の COVID-19 への対応の実際と現在を、現地に在住する 2 名の方に両国の一国民・市民の目線で語っていただいた。海の向こうから見える日本の状況などの議論も通して、新型コロナウイルス感染症との向き合い方を考えるものとなった。参加者からの質問もチャット等で受け付けながら、進化した。世界各国(フィンランド、スウェーデン、イギリス等)および日本全国から 300 名を超える申し込みがあり、当日は 210 名の参加があった。フィンランド大使館の後援(名義)をいただき、広く周知し、多くの参加者を集めることができた。フィンランドおよびスウェーデンの新型コロナウイルス感染症への向き合い方、人々の暮らしと対応、政治のあり方など広く議論がされた。当日の内容については、グラフィックレコーディングという手法で記録された。実施後のアンケート(回答 119)では、「とてもよかった」が 56%、「よかった」が 39%と 95%との回答だった。

主催：東北工業大学北欧デザイン研究所・宮城学院女子大学生活文化デザイン学系
オンラインサービスウーデン・フィンランドをLiveでつながいで
社会のデザイン～北欧諸国における新型コロナウイルスとの向き合い方

COVID-19（新型コロナウイルス）の対策において異なる対応をみせた北欧のスウェーデンとフィンランド。市民のCOVID-19への対応の実態と現在を、現地に在住する著名の方に岡田の一族・民の目線で語っていただきます。海の内側から見る日本の状況との違いも通して、新型コロナウイルスと向き合い方を考える機会でもあります。皆さんからの質問もチャット等で受け付けながら、進行する予定です。

東北工業大学建築学部・フィンランド大使館
2020年8月29日（土）
17:00～19:00
SWEDEN: 8:00～10:00
FINLAND: 9:00～11:00

参加費：無料
 会場：Zoom（参加費を支払った方でも観覧できます）
 定員：300人

申し込み方法：2URLもしくはQRコードから申し込み下さい。1URLもしくはQRコードから申し込み下さい。お申し込みはオンライン登録アプリでお願いします。お申し込みは1週間前まで受け付けます。キャンセルは8/20まででキャンセル料はなしです。キャンセルは8/20まででキャンセル料はなしです。キャンセルは8/20まででキャンセル料はなしです。

川崎 一彦 氏
 (たけしまかひこ 氏)



1947年愛知県生まれ。北海道札幌大学卒業。北海道大学教員を経て2013年から東海大学教員。平成30年度外務大臣表彰。2019年スウェーデン大使館参事。主要関心分野は国際建築・建築精神・地域文化など。スウェーデン（ストックホルム）在住。
<http://kazuhiko.kawasaki.jp/>

遠藤 徳久 氏
 (えんどうとくひさ 氏)



グラフィックデザイナー・コーディネーター・通訳翻訳家。日本フィンランドの2国間の文化・芸術・デザインと多岐関心。日本フィンランド両方国のグラフィックのために、広告・パッケージとプリントデザイン、グラフィックプロジェクトを手がけるほか、デザイン・コミュニケーション・コーディネーター・通訳翻訳者としても活動。日本フィンランド両国語の企画・PR（Webランド）翻訳家。北米建築設計協会 SAGI 会長。フィンランド（エスボ）在住。





石橋 智晴 氏 フォトグラフィックコーディネーター
 公立小学校教員/NARA 文芸A Lab 理事
 司会・進行 石井 敬
 奥席 宮城学院女子大学 教授

申し込み



社会のデザイン～北欧諸国における新型コロナウイルスとの向き合い方～

2020.8.29 (土) @オンライン

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

◎北欧国家とは？

コロナへの対応は
社会デザインのア
東北工大北欧デザ
イン研と宮城女子大

東北工業大学北欧デザイン
研究所（所長・石井敏建築学
部教授）と宮城学院女子大学
生活文化デザイン学科（主催
代表・飯森教授）が主催する
シンポジウム「社会のデザイ
ン」北欧諸国における新型コ
ロナへの向き合いが、8月
29日、ウェブを活用して開か
れた。東北工大建築学部とフ
ィンランド大使館が後援し

の3カ国を同時中継配信し、
現地在住の川崎一彦（東海大名
誉教授とグラフィックデザイ
ナーの遠藤悦郎氏が、新型コ
ロナウィルスへの北欧諸国の
対応状況や現地の様子などを
報告し、オンライン参加者を
交えてディスカッションし
た。

政府への高い信頼度を基盤
にしたコロナ禍への向き合い
方、両国での対応の違い、国
内とは異なる医療体制や社会
環境を背景にした国民の意欲
などについて幅広く議論した
結果、正解のないコロナ対応
は、これまで培ってきた各国
の社会の姿がそのままだと映
れる「社会のデザイン」がキ
ーワードになることが示され
た。

また、石橋智晴氏（EN
Lab.）によるシンポジウ
ムの模様をリアルタイムで可
視化するグラフィックコー
ディングも実施。リアルタイ
ムでアンケートを取り入
れたオンラインならではのシ
ンポジウムは、テーマの関心の高
さもあって全国各地と海外か
ら約210名の参加があっ
た。



日本とフィンランド、スウェーデンの
3カ国を同時中継配信した

フィンランド、スウェーデン
シンポジウムでは、日本と

建設通信新聞

2020年09月09日 006面 01版 No. 17

2. オンラインシンポ「SUOMI の SAUNA～フィンランドのサウナ サウナの建築・文化・生活の視点から」 2021年3月14日開催 (zoom ウェビナー)

日本でも昨今人気が出ているフィンランドサウナ。日本人にとっての「風呂」と同じように、フィンランド人にとって「SAUNA」は文化的にも、歴史的にもきわめて重要なものであり、日常生活の中でもとても大切なものである。近年は SAUNA を観光資源としても活用しながら、新しい時代における SAUNA のあり方を追求している。建築、文化、生活の視点から SAUNA をフィンランドにゆかりのある話題提供者からご紹介する内容としフィンランドの SAUNA からの生中継も交えた。

本オンラインシンポジウムは、フィンランド大使館の共催、また株式会社メスなどの協力により行われた。日本は全国各地から、また国外（フィンランド、スウェーデン、デンマーク、ドイツ、ベトナム、シンガポールなど）からの参加者も含めて約 300 名が参加する盛大なものとなった。石井敏教授（研究所所長・建築学部長）からの世界で通用する唯一のフィンランド語「sauna」の解説と主旨説明のあと、坂口大史氏（日本福祉大学）・垣野義典氏（東京理科大学）より、フィンランドのサウナの文化・歴史的背景や、進化するサウナ建築の紹介、鷹野敦氏（鹿児島大学）からはフィンランドの伝統的なスモークサウナの紹介、さらに森太郎氏（北海道大学）からはサウナの環境特性など、フィンランドへの留学・研究経験のあるパネリストから話題提供があった。さらに、フィンランド在住の遠藤悦郎氏がヘルシンキの貸切サウナから中継参加、本物のサウナの雰囲気と熱気を映像で伝え、さらに凍った海に飛び込むサウナの楽しみ方を実演し、オンラインならではのシンポとなった。フィンランドサウナを建築や文化とつなげ、さらに学術的な視点からの考察も交えた、これまでにないサウナシンポジウムとなった。

Life Style Craft

人場・視聴 無料

オンラインシンポジウム

「くらしと工芸と秋保」

～フィンランドと秋岡芳夫に学ぶ「くらしと工芸」～

@AKIU vol.1

2020年
9月15日 火 13:30~16:00

開催概要

「くらしと工芸と秋保」の開催にあたって
 新型コロナウイルス感染症では、これまで経験したことがない困難により、国内外のあらゆる人々に様々な苦痛を与えています。この困難を共に乗り越えようとする中で、人と人とのつながり、地域活動のあり方などについて改めて考える機会が与えられています。
 「くらし」とは生活環境とテーマで、「シンポジウム」はオンライン交流やワークショップなどを予定しています。下記は、「くらしと工芸と秋保」として、「くらし」とは生活環境とテーマで、「シンポジウム」はオンライン交流やワークショップなどを予定しています。シンポジウムの内容は、「くらし」とは生活環境とテーマで、「シンポジウム」はオンライン交流やワークショップなどを予定しています。シンポジウムの内容は、「くらし」とは生活環境とテーマで、「シンポジウム」はオンライン交流やワークショップなどを予定しています。

当日は遠隔でも見ることができ、参加費もありません。
 秋保の地にはぜひとも行ってみたい場所があります。ぜひ、みなさんに伝えてほしいです。
 最後に、是非ご参加ください。申し込みは先着順となります。

オンラインシンポジウム（Zoom ウェビナー）

第1部 13:30~14:40 基調講演 フィンランドに学ぶ「くらし・デザイン・いし」 講師：石井 敏 東北工業大学 教員(名誉デザイン研究所所長) 秋岡芳夫に学ぶ「くらしと工芸」 講師：秋月 俊五(元本田技研工業(株) 東北工業大学卒 秋岡芳夫下弟子)	 フィンランド ある家の風景  秋月 俊五 (1930-1997)
---	---

第2部 14:45~15:55 パネルディスカッション テーマ「くらしと工芸と秋保」を考える コーディネーター パネリスト	 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>菊池 俊哉 東北工業大学 学部長</td> <td>山本 國隆 日本建築士会連盟 会長</td> <td>福山 修一 建築家</td> <td>油田 昌一郎 学生部長</td> <td>石井 敏 東北工業大学 教授(名誉)</td> <td>秋月 俊五 東北工業大学 教授(名誉)</td> <td>熊野 彰 東北工業大学 学長(名誉)</td> </tr> </table>	菊池 俊哉 東北工業大学 学部長	山本 國隆 日本建築士会連盟 会長	福山 修一 建築家	油田 昌一郎 学生部長	石井 敏 東北工業大学 教授(名誉)	秋月 俊五 東北工業大学 教授(名誉)	熊野 彰 東北工業大学 学長(名誉)
菊池 俊哉 東北工業大学 学部長	山本 國隆 日本建築士会連盟 会長	福山 修一 建築家	油田 昌一郎 学生部長	石井 敏 東北工業大学 教授(名誉)	秋月 俊五 東北工業大学 教授(名誉)	熊野 彰 東北工業大学 学長(名誉)		

参加方法（オンライン参加）

ZOOM（スコード） 510673

参加登録 Zoom URL <https://zoom.us/joiner?WUUE14Ky-TDokamwxe0jyw>

※ 注意、YouTubeにて配信 https://www.youtube.com/channel/UCcOSn9J3Qzba_49t9eGxZte7urated

参加方法（会場参加） **木の家 珈琲館ホール** 〒宮城県仙台市太白区新萩町東元寺町乙-1

※会場での観望ご希望の方は事前にご予約ください。入場無料 先着25名様

問合せ先：手しごと&AKIU事務局
 （木の家の秋保・秋保手しごと内）
 ☎ 02-2-397-2903 ☎ info@akiu-kino.co.jp

主催：手しごと&AKIU 後援：全道設計協会 社会福祉院 東北工業大学
 協力：秋保まちづくり委員会 木の家倶楽部 木の家倶楽部 東北工業大学
 東北工業大学総合デザインセンター 東北工業大学地球環境センター

4. 科研費に研究分担者として参画

近畿大学建築学部の山口健太郎教授が研究代表を務める科研費(B)が採択され、研究所所長の石井も研究分担者として参画した。研究題目は「高齢者施設における生活・介護の質と効率性の均衡関係に関する国際比較研究」(基盤研究(B), 2020 年度～2022 年度)で北欧を対象とした調査研究となっている。

【研究概要】 日本の高齢者施設は成長期から停滞期・後退期への変化しており、生活や介護の質の向上よりも効率性や経済性が重視されている。今後も日本では高齢者施設の量的供給が続くことが予想されており、効率性と質の双方を満たす方策が希求されている。本研究では、生活や介護の質の向上と効率性の双方を両立させる新しい仕組みを明らかにするために以下の3つの課題を設定し検討する。①日本における高齢者施設の到達点と現状課題の抽出。②北欧との比較研究から生活・介護の質と効率性の均衡関係を確保する方策について明らかにする。③北欧、日本で取り組まれてきている社会的企業に着目し持続的な高齢者施設の質改善の方策について明らかにする。

<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-20H02335/>